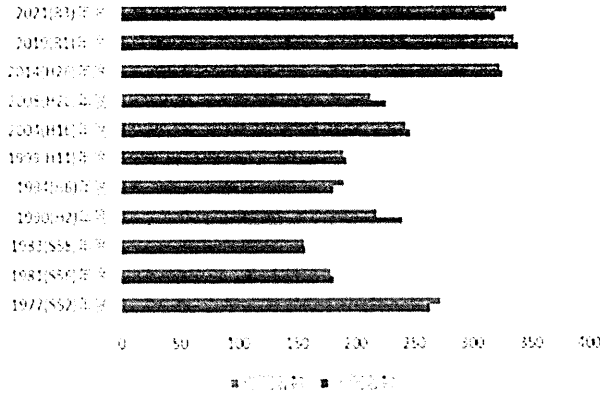


鶴が丘だより

2022病院統計速報

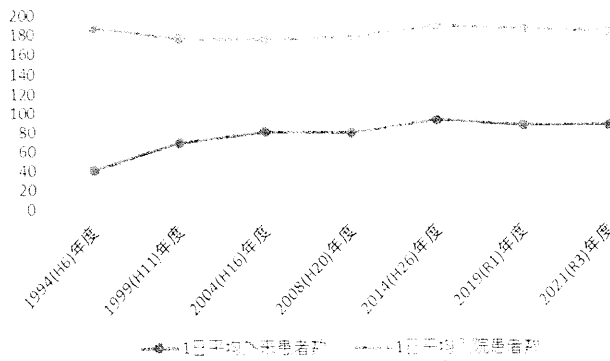
毎年鶴が丘だよりでは、病院統計を特集しています。今回は、二〇二一年度の統計をご紹介します。

I. 入退院数の変化



一九七一年の開院以来、多くの患者様にご利用いただき、参りました。二〇〇八年A棟棟舎とにも急性期治療棟を開設し、より集中的な治療の提供により、入院患者が増えました。特に二〇二一年度は、退院患者数が入院患者数を上回りました。

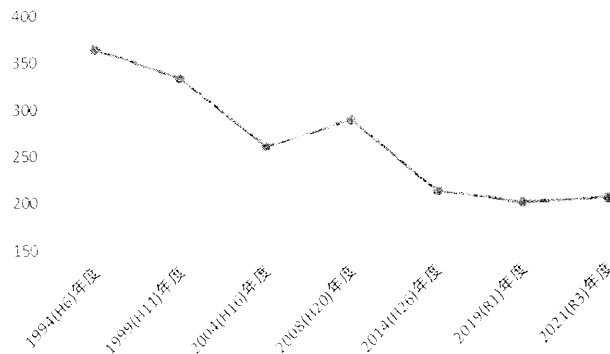
外来・入院患者数の変化



増加傾向です。外来患者数は、一日平均入院患者数は、一日平均外来患者数は、増加傾向です。外来患者数は、増加傾向です。外来患者数は、増加傾向です。

心身の充実が考えられます。平均在院日数の変化

平均在院日数



平均在院日数とは病院全体で一人一人の患者様が何日間入院しているかを示す指標です。

精神科床の全国平均は約三〇〇日です。当院の平均は約三〇〇日です。当院の平均は約三〇〇日です。当院の平均は約三〇〇日です。

ある日の鶴が丘

昨年度は「家族心理教育プログラム」の家族のつどいをオンラインにて開催し、ご好評をいただきました。

今年度は、約2年間中止していた「病室家族教室」講演会、の再開に向けて現在開催方法の検討を行っております。

また、クレジットカード対応や電子カルテ化に加え、オンライン資格確認(マイナンバーカード)による健康保険情報確認システムへの導入も夏頃予定しております。

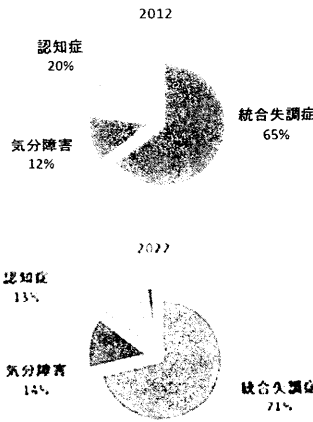
皆様にとって、より安全安心にご利用いただける医療機関を目指して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

〈企画管理部〉

◎一〇年間の変化
 在院患者様の分析から

の三月三十一日のデータに基
 づいていきます。

Ⅰ・病名別

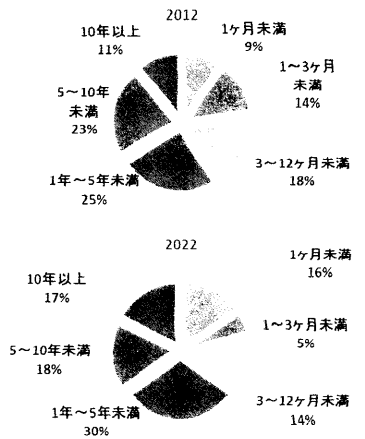


し、認知症の方の割合が減少
 の方が微増しました。気分障害

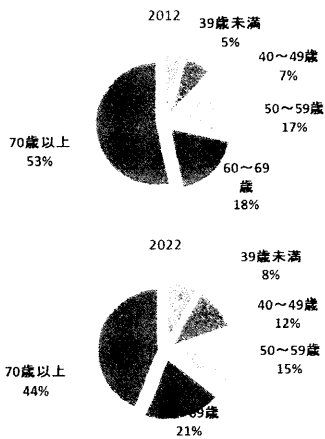
Ⅱ・在院期間別

入院短期治療と長期療養の、
 入院の二極化が進んでいま
 す。二〇一二年に五、十年未
 満であつた方が、二〇二二
 年で十年以上に移行して
 いることが予想されます。
 今後とも、より退院支援に取
 り組んで参ります。

Ⅲ・年代別



この十年で、四九歳以下
 の方の入院割合が七〇歳以
 上の方のご入院は微減傾向
 がみられます。また、七〇歳
 がみられ、早期治療との連
 地城関係機関との連携強
 化による早期治療介入の受
 け入れ体制の整備の効果か
 らい入れます。



◎まとめ

今月は統計データから当
 院の現状をお伝えいたしま
 した。

中長期に入院されて、長
 患者様への地域移行は、長
 年の課題です。当院では、長
 現に積極的、今年度の移行の
 般相談支援事業へ地域移行
 支援の開設を目標し、現在
 準備を行っております。

また、多様化した精神科
 医療のニーズに対応した、
 入院治療プログラムの検討
 と実践に向けた検討、質の
 向上を図って参ります。

さらに、障害者の社会参
 加促進の一環として、今後
 は障害者雇用や就労支援な
 どを通じて、地域福祉の充
 りに向けた取組を行って参
 ります。

今後とも、当法人を何卒
 よろしくお願ひ申し上げます。

(文責：高木・高野)

医療法人社団 鶴永会

鶴が丘ガーデンホスピタル
 TEL:044-988-3121
 東京都町田市三輪線山2-2133-1
 長津田いこいの森診療所
 TEL:045-507-7656
 神奈川県横浜市緑区長津田4-11-14

入院患者様の
 面会・外出泊につて

溜め息づくのは
 疲れた証拠

予定は未定
 ぐよくよするな

いろはカルタ

今月の...